11年9月刊行

日本女性差別事件資料集成 5

平等を求め立ちあがった女性たちの比類なき裁判資料

賃金差別事件資料 Ⅲ

解題：宮地光子（弁護士）　寺沢勝子（弁護士）　谷智恵子（弁護士）
原野早知子（弁護士）　北川清子（住友金属事件元原告）

全9巻B5判・上製本　別冊1
総ページ数　4,338頁
揃定価　262,500円(税込) *分売不可
ISBN978-4-86369-123-0

すいれん舎

本資料集の特色

1 原告、代理人、支援者たちから提供された貴重な裁判資料

民事事件資料の裁判所での保存期間はわずか5年。判決文のみが50年保存。全国の原告、代理人、支援者を訪ねて資料を収集、裁判所にさえ存在しない文書など貴重な裁判資料、関連資料を多数収録。

2 男女別コース制差別、既婚女性差別などテーマ別に賃金差別事件を収録

厚生労働省が編纂している『女性労働の分析』に準じて事件を分類、同書に掲載されている事件についてはほとんど網羅。第5期は男女別コース制差別、既婚女性差別など賃金差別事件を4事件、8（判決、和解）収録。事件別資料は下級審から上級審に向けて時系列順に配列。

3 すべての事件について判決文、和解書のほか裁判資料を多数掲載

裁判資料は判決文、和解書のほか訴状、控訴理由書、原告・被告双方の準備書面、陳述書、鑑定意見書などを収録した。

●勝利和解に笑顔の住友金属工業事件の原告団

本シリーズの刊行趣旨

『日本女性差別事件資料集成』は差別と闘ってきた人々の詳細なドキュメントである。原告から提供された裁判資料とその関連資料を忠実に復刻し、それぞれの事件の現代的意味を考察するとともに、女性の権利の進展を俯瞰しようとするものである。

4 和解事件裁判資料のほか見書、企業側準備書面なも積極的に収録

和解した事件についても和解調書のほか準備書面な裁判資料をできるだけ収録し、裁判の推移と結果が理きるように努めた。また判決に大きな影響を与える意見ついてもできる限り掲載した。さらに企業側準備書面にても積極的に収録した。

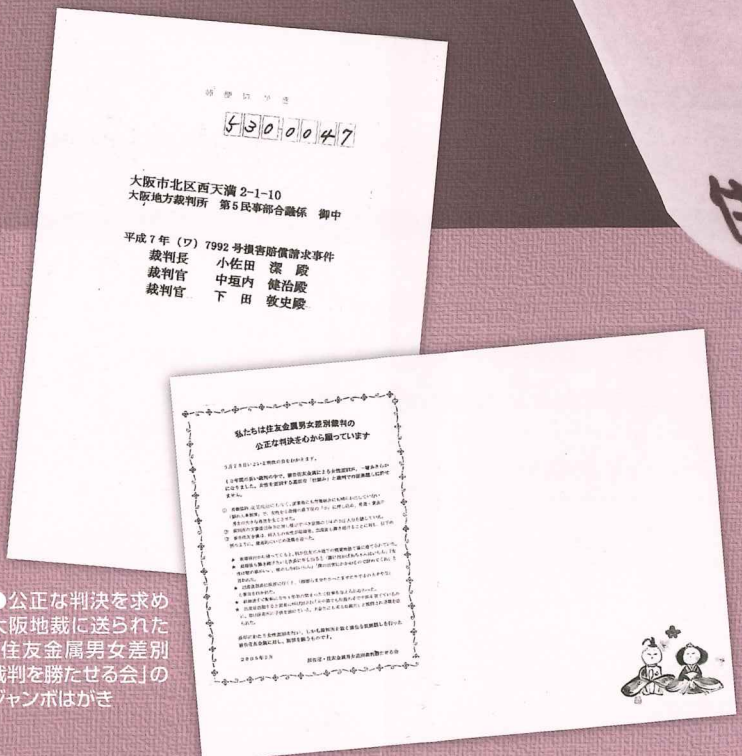
5 裁判闘争支援団体の会報チラシなども掲載

裁判闘争を支えた運動、組織団体（各事件の原告を守や労働組合）などの会報、チラシなども収録。法廷外でいについても軌跡が追えるように努めた。さらに原告本陳述書などもできるだけ収録した。

6 詳細な資料総目次を作成

別冊解題資料に丁寧な解題を付したほか、詳細な資料次を作成し利用者の便をはかった。

●一審の勝利判決に喜ぶ住友生命ミセス差別事件の原告団



大阪市北区西天満 2-1-10
大阪地方裁判所　第５民事部合議係　御中

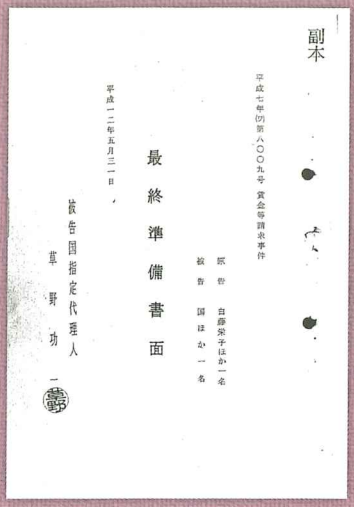
平成７年（ワ）7992 号損害賠償請求事件
裁判長　小佐田　潔　殿
裁判官　中垣内　健治殿
裁判官　下　田　敦史殿

私たちは住友金属男女差別裁判の
公正な判決を心から願っています

●公正な判決を求め大阪地裁に送られた「住友金属男女差別裁判を勝たせる会」のジャンボはがき

５期収録資

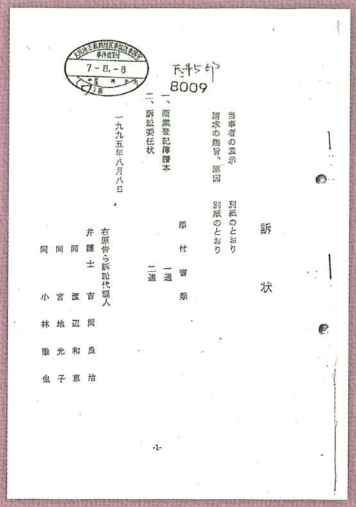
1	住友電
2	住友化
4	住友生
3	住友金



副本

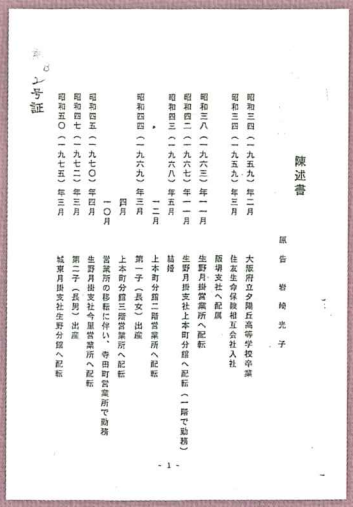
最終準備書面

●裁判資料の主体は準備書面。



訴状

●訴状、控訴状等についてもできる限り掲載した。



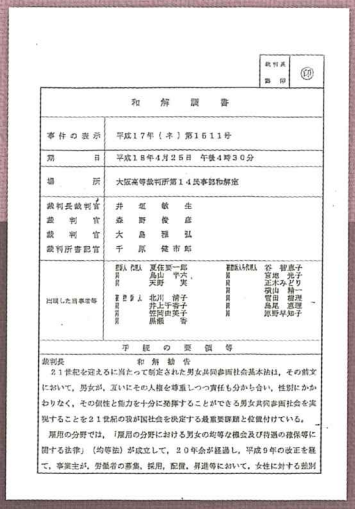
陳述書

●原告本人の陳述書を収録。

悪いねん

ス差別の裁判を支援する会

●何事にも12人の全員一致が行動原則だった住友生命原告団。全員が一致して製作した腕章。



和解調書

●和解した事件については和解書をもれなく収録した。

たんぽぽとんだ

●原告団、支援団体の会報、ニュースなど、法廷外の闘いを記録する貴重な資料。

料一覧

事件名	分類	裁判所名	判決・和解日	判決・和解	巻構成	訴状	控訴理由書	準備書面	意見書	判決文	和解調書
工損害賠償請求事件	男女別コース制賃金差別	大阪地裁	2000年　7月31日	判決	1	○		○	○	○	
		大阪高裁	2003年12月24日	和解	2		○		○		○
学工業（株）賃金等請求事件	男女別コース制賃金差別	大阪地裁	2001年　3月28日	判決	3	○		○		○	
		大阪高裁	2004年　6月29日	和解	4		○				○
命ミセス差別事件	既婚女子と未婚女子の賃金差別	大阪地裁	2001年　6月27日	判決	5・6	○		○	○	○	
		大阪高裁	2002年12月16日	和解	6・7						○
属工業損害賠償等請求事件	男女別コース制賃金差別	大阪地裁	2005年　3月28日	判決	8	○		○		○	
		大阪高裁	2006年　4月25日	和解	9						○

歴史を切り拓いた貴重な資料

浅倉むつ子

（早稲田大学大学院法務研究科教授）

女性差別に挑んできた数多くの訴訟がある。これらは、原告たちと法律家が織りなす高い志の結実といってよい。彼女たちは、「そんなことは訴訟にはならない」、「裁判所で勝つのは無理」、「法理論的には不可能」と言われながらも、一歩一歩、歴史を切り拓いてきた。「差別は自分たちの代で終わらせたい」、「次世代に明るい未来を残したい」、「差別を否定できない法律では意味がない」、「裁判に勝つことだけが目的ではない」、「大切なのは人としての尊厳と誇り」。そんな女性たちの声と願いは、法の世界を動かしたのである。

訴訟の裾野は着実に広がり、結婚退職制・若年定年制から、昇進・昇格差別やセクシュアル・ハラスメントに至るまで、大きな流れを作りあげてきた。そこに蓄積されてきた裁判資料は、日本社会の現実をもっとも雄弁に物語っている。このたび、これらの貴重な資料を集大成するという壮大な企画が現実化した。大変な朗報である。

差別というものは形を変えながらも、今もなお社会の根底に根強く存在している。だからこそ、先人たちの貴重な努力を風化させてはならない。これらの資料は、間違いなく多くの人を感動させるだろう。私も、差別撤廃のために積み上げられてきた一つひとつの言葉と行動を、この資料を通じて、改めて深くかみしめたいと思う。

権利を闘いとってきた女たち

上野千鶴子

（元東京大学大学院教授）

日本では、法律が世の中を変えることは、めったにない。法律ができたときには、社会通念も慣行も、とっくに変わっている。

それを闘いとってきたのは、差別をうけ、それを差別とはっきり認識し、法廷で闘ってきた女性たちと彼女たちを支えた専門家や支援者たちだ。判例が積み重なり、慣行が変わってから、あたかも事実を追認するかのように、ようやく法律が現実に追いつく。女性の採用差別や昇進差別も、結婚退職制も、若年定年制も、差別定年制も、そうやってなくなっていったものだ。85年に男女雇用機会均等法ができて、職場の女性差別を禁止したとき、すこしも新しさを感じなかったのは、その程度の禁止なら、裁判闘争でとっくに獲得していたからだ。

権利も制度も、闘わなければ手に入らない。与えられたときには、求めたものとは違うものをさしだされている。そして手にいれたと思ったはずのものも、いつのまにか足もとを掘り崩される。男女平等が空気のようにあたりまえだとおもっている若い女たちにも、それが先輩の女たちのどんな血の滲むような闘いに支えられているかを、たまにはふりかえってほしい。

推薦者（五十音順）

天野正子（東京家政学院大学学長）
遠藤公嗣（明治大学教授）
奥平康弘（東京大学名誉教授）
神長百合子（専修大学教授）
西谷　敏（大阪市立大学名誉教授）
林　弘子（福岡大学教授）
森ます美（昭和女子大学教授）
森まゆみ（作家）
脇田　滋（龍谷大学教授）
和田　肇（名古屋大学教授）

《本シリーズの全体構成》

【既刊】

1期　日本弁護士連合会　両性の平等に関する委員会資料
2008年11月●揃定価262,500円（税込）

2期　結婚・出産退職制、若年定年制、差別定年制等事件資料
2009年9月●揃定価262,500円（税込）

3期　賃金差別事件資料Ⅰ
秋田相互銀行不当利得金返還請求事件ほか
2009年12月●揃定価262,500円（税込）

4期　賃金差別事件資料Ⅱ
2010年10月●揃定価262,500円（税込）

5期　賃金差別事件資料Ⅲ
2011年9月●揃予価262,500円（税込）

【刊行予定】

6期　賃金差別事件資料Ⅳ
2011年12月●揃予価262,500円（税込）

7期　非正規社員解雇・差別事件資料
2012年5月●揃予価262,500円（税込）

8期　母性保護関係事件資料
2012年10月●揃予価262,500円（税込）

9期　セクシュアル・ハラスメント事件資料
2013年6月●揃予価262,500円（税込）

《販売対象》

●**経営学部：**労務管理　●**家政学部：**ジェンダー、生活科学、生活経済
●**文学部：**、フェミニズム、女性史、婦人運動　●**法学部：**労働法、民法、憲法、人権法、法哲学
●**社会学部：**ジェンダー、女性学、社会運動、都市社会学、地域社会学　●**経済学部**

株式会社 すいれん舎
〒101-0052　東京都千代田区神田小川町3-10　西村ビル5F
TEL.03-5259-6060　FAX.03-5259-6070
E-mail　masato@suirensha.jp

取扱店